

2025年度 埼玉県理容美容専門学校 シラバス

記 号	R2025KK73
課 程	昼間課程
所 属 科	理容科
教 科 名	香粧品化学
担 当 者	高見澤 一夫
区 分	必修
授 業 形 式	講義
開 講 年 次	1年次（後期）
授業時間(単位)	30 時間 (1 単位)

教科書（発行所）	香粧品化学（公益社団法人 日本理容美容教育センター）
----------	----------------------------

授業の概要	理容師に関わる香粧品化学についての習熟を図る。	
期末考査	習熟状況審査のため、後期末に考査試験を実施するものとする。	
	時間	50 分
	内容	教科書の内容を中心に理容師の国家試験過去問題や教材プリントなどを参考に試験問題を作成し出題する。
	合否	100 点満点中 60 点をもって合格とする。
評価方法	試験成績、平常の成績、出席状況等を総合して得点化し評価基準を基に判定する。	
評価基準	評価基準は、下記の通りとする。 A:90~100 点 B:80~89 点 C:70~79 点 D:60~69 点 E:追・再試験合格者 F:59 点以下 放棄:0 点	

実務経験のある教員による授業	—
実 務 経 験	—
実務経験の活かし方	—

2025年度 埼玉県理容美容専門学校 年間授業計画

科 目	化粧品化学	担 当	高見澤 一夫
-----	-------	-----	--------

(1年次・後期)

回	講 義 内 容	備 考
1	第1編 化粧品総論 第1章 化粧品総論 1節～化粧品とは・造形・効果と使用プロセス	教科書写真ページ①～③ 教科書 P9～16
2	3節 化粧品の効果と使用プロセス 第2章 化粧品を使用する際に気をつけること 1節 使用によるトラブル	P17～24
3	2節 化粧品の定義（化粧品と医薬部外品） 法規制（医薬品医療機器等法）	P25～34
4	3節 化粧品の安全性と安定性	P35～42
5	第3章 化粧品の成り立ち 1節 成り立ち 2節 水と親水性溶媒（エタノール、メタノール）	P43～50
6	3節 油性原料 油脂、ロウ類	P51～54
7	3節 油性原料 炭化水素 3節 その他の油性原料	P54～58
8	4節 界面活性剤 4節-1 界面活性剤の基本的性質	P59～62
9	4節-2 界面活性剤の種類 （陰イオン、陽イオン、両性、非イオン界面活性剤）	P63～66
10	5節 高分子化合物（天然、半合成、合成） 6節 色材、無機顔料（着色・白色・体質顔料）	P67～74
11	6節-4 有機合成色素（タール色素） 7節 香料	P74～80
12	8節 製品を安定させる配合原料 防腐剤・殺菌剤・酸化防止剤など	P81～85
13	9節 その他の機能性配合原料 保湿剤、紫外線吸収剤	P86～88
14	9節-3 収れん剤、 -4 ビタミンなど 10節 雑貨原料 期末試験の説明	P88～95
15	期末試験解答説明、過去の国家試験解答説明、練習問題	P①～95

R2025KK73